



全国高等学校総合体育大会剣道大会で優勝した九州学院剣道部のメンバー（前列中央が相馬さん）



「人間力が身に付く

のが「一番の魅力」

相馬武蔵さん（大津）

8月に熊本市で行われた全国高等学校総合体育大会剣道大会で団体優勝を果たした九州学院高校。チームの大将として日本一に貢献した相馬武蔵さんにクローズアップする。

相馬さんが剣道を始めたのは3歳の頃。家族全員剣道経験者だったので剣道は身近な存在だった。かの剣豪と同じ「武蔵」の名前もあり、大津少年剣道クラブ時代から目標は日本一の剣士。来年度、町に像が建つ予定の人気漫画「ONE PIECE」に登場する「剣士ゾロを思い起させる」。

中学の頃、全国制覇を果たし、全国各地から選手が集まる九州学院高校へ進学する。今年度の高校総体は熊本開催だったこともあり、「熊本出身の自分が優勝する」という思いがあった。大会では、5人全員引き分け後の代表戦勝利などの活躍。日本一を決めた。

この日に至るまで、周囲の実力の高さから要所で結果を出せず、選手から外されることも経験した。目標を見失いかけたとき、父からの「腐るな」という言葉。同じ大津町（中島）出身の監督である米田敏郎さんから「修練を重ねて自分の力をつけることに集中してくれ」と言葉を掛けられ、何も考えずに剣を振れるようになった。「父と監督を含め多くの人たちに支えられて今の自分がいます」と感謝を語る。

部活動を引退し、「剣道しかしてこなかったから勉強も頑張りた」と笑いながらも、「お世話になった人たちに教わったことを、後輩にも伝えたい」と放課後は今も道場に通う。将来の夢は家業の酪農を継ぐこと。酪農をしながら剣道を町の子どもたちに伝えていきたいと笑う。「人間力が身に付くのが剣道の魅力。社会に出てから必ず役立つと思う。だから『うま〜い』がなくても、いつか花が咲くことを信じて努力してほしい」と語る。家族や恩師の教えを受け継ぎ、相馬さんは人の花を咲かせるという大きな夢に向かって走り出した。

こゝろの声

▼入庁して初めてのからいもフェスティバル。当日は天候にも恵まれた。畑で採れた大きなからいもをドヤ顔で見せてくれる子どもたちの姿がかわいらしかった。おもしろい形のものも展示されましたが、個人的には宇宙人のような形をしたからいもがお気に入りです（3頁掲載）（眺）
▼早いもので今年も11月が終わり、2019年が終わろうとしています。今年も元号が令和に変わり消費税率も上がって、生活環境が大きく変わりましたが、変わらないのは災害被害。日ごろの備えが大事ですが、何もないのが一番。来年は平穏無事でありませう（に）（HN）

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください（スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信）。



QRコード

UD FONT
見やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



広報が読める
スマホアプリ
マチイロ

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ

12
DECEMBER 2019



今月のみどころ

巻頭記事

第31回

からいもフェスティバル

今月の表紙

からいもフェスティバルのいも掘り会場にて笑顔で収穫したからいもを見せてくれた女の子（記事は2-3頁）。

広報 おおづ 2019 12

発行・編集 大津町・総務課
〒869-1292 熊本市豊前郡大津町大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2100 印刷 株式会社
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使用しています。